

NYC、東京を拠点に世界で歌い続けてきた
私と音楽の「心のポートレート」を
観て、聴いて、感じていただければ幸いです

Tomoko

11月28日(土曜日)
19時開演(18時40分開場)

会場: HAKUJU HALL

地下鉄千代田線代々木公園駅下車徒歩5分
小田急線代々木八幡駅徒歩7分

入場料(全席自由):

4,500円(一般) 3,500円(学生)

※一部リクライニング・シート有

柴田智子初のクラシカルCD
“MY AMERICAN DREAM”発売記念コンサート

柴田 智子 ソプラノ・リサイタル

〈ナビゲーター〉マンドリン:堀 雅貴 ピアノ:中島 剛

〈プログラム〉●コーブランド:川のほとりで/小さな馬/CHING-A-RING CHAW/遠い昔~「アメリカの古い歌」より●ブリッススタイン:
WHAT WILL IT BE FOR ME? ~オペラ「レジーナ」より●ムーア:シルバー・アリア/柳の歌~オペラ「ベイビードウ」のバラードより●ガー
シュウィン:サマータイム~オペラ「ボギーとベス」より●J. シュトラウス:侯爵様、あなたのようなお方は~オペレッタ「こうもり」より●モーツアル
ト:恋とはどんなものかしら~オペラ「フィガロの結婚」より●グノー:私は夢に生きたい~オペラ「ロミオとジュリエット」より●プッチーニ:歌に生
き、恋に生き~オペラ「トスカ」より●カラーチェ:マンドリン協奏曲第2番2楽章 他 ※曲目は変更になる場合もございますのでご了承ください。

【チケットの予約及びお問い合わせ】

■(株)フロrestan Tel: 03-6457-4695
E-mail: info@florestan.co.jp

■(株)T.S.P.I. Tel: 03-3723-1723
Fax: 03-3723-1722
E-mail: operaza@attglobal.net

■東京文化会館チケットセンター
Tel: 03-3685-0650

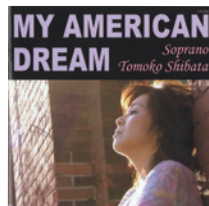
■e+(イープラス) <http://eplus>

CD発売記念
インスタ・ライブのお知らせ

- 10月17日(土) 15時スタート
タワーレコード渋谷店6F クラシック・フロア
- 10月29日(木) 18時30分スタート
ヤマハ銀座店6Fサロン

柴田智子初のクラシカルCD
好評発売中!

MY AMERICAN DREAM
~シルバー・アリア~



JYOZ-2001 ¥3,000(税込)

- 川のほとりで
「アメリカの古い歌」より(コーブランド)
- シルバーアリア
「ベイビードウのバラード」より(ムーア)
- 柳の歌
「ベイビードウのバラード」より(ムーア)
- 歌に生き、恋に生き
歌劇「トスカ」より(プッチーニ)
- お聞きください、ご主人様
歌劇「トゥーランドット」より(プッチーニ)
- 恋とはどんなものかしら
歌劇「フィガロの結婚」より(モーツアルト)

20年以上もニューヨークで等身大に生き歌い続けてきた一人の女性シンガー・ソプラノ柴田智子、彼女がCDデビューしたのは今から14年前、数多くのクロスオーバーな活動をへて決して彼女が諦めなかった事、大好きなクラシックのCDアルバム制作でした。初めてニューヨークで聞いたクラシックは限りなく自由でした。その音楽表現は風にのり希望として柴田の心に“音楽をする楽しさ、表現できる事の素晴らしさ”を教えてくれました。彼女の初クラシックCD“MY AMERICAN DREAM”はソプラノ柴田智子とその多彩なレパートリーを歌い続けてこられた自分と向き合ってきた歴史、今まであまり表に出さなかった“心のポートレート”です。9-11の現場で受けた衝撃喘息、乳がんも克服して今前を向いて明るく生きいける感謝を込めて、音楽と自分の向き合う柴田智子に会いに来てください。アメリカのロマンティックなアリアやコーブランドの心暖まる歌曲、モーツァルトのアリアと世代や人種の壁を越え心に響くクラシックの一夜となる事でしょう。



柴田 智子 [ソプラノヴォーカル]

Tomoko Shibata

ソプラノでありながらそれを越えて今を生きる愛や勇気を観客と共有する歌心がある。武蔵野音大を卒業後いろんなジャンルの音楽が生まれる瞬間を肌で感じるためニューヨークに渡米し、働きながらマヌス音楽大学、ジュリアード音楽院に通うも中退。大学生活は生きる事の背中合わせで勉強に専念できず柴田が選んだ道は、一度で多く素晴らしいプロの演奏家で演奏する事だった。音楽や生きる事への探究心はあるものの歌手としては全く未経験の柴田のデビュー公演、初の英語によるオペラ“夕鶴”をニューヨークタイムズ紙はとらえた。“繊細でコントロールされた素晴らしい演技力と音楽”と絶賛。舞台芸術の素晴らしさを経験しその後本格的なオペラの勉強を決意、若かりし柴田を支えた言葉、それはマリア・カラスの“自分が信じる音楽を表現するには勇気が必要”という言葉だった。一流の演奏家のコンサートに自らのテープ持ち積極的に共演を依頼した。世界のスーパーストリングカルテット“クロノス”や“バラネスク”との共演が高く評価されながらも自ら歌い手として向き合う時間がなかった事に猛反省。本格的なオペラの発声法を身につける為に、ニューヨークからミラノへ留学、歌い手として挫折を感じながらも一から勉強に取り組む。故バースタイン氏との約束、“しっかりとした技術を身につけて彼の音楽を紹介する”約束を守るべくイタリアで研鑽を積みながらコンサートで彼の曲を紹介し続けた。1995年～2000年東芝EMI(現在EMI JAPAN)と専属契約を結び、ミュージカルやアメリカのオペラ、オペレッタを集めた“マンハッタン・ドリーム”をリリース、また敬愛するジョン・レノンの歌詞をオペラの歌唱にのせ

たビートルズクラシックカバーアルバム“LET IT BE”は世界で反響を呼んだ。ラッセル・ワトソンをはじめ著名人とコラボレーションを行いながら多くのTV番組に出演、FMパーソナリティも務める。“愛された音楽が伝統となる”をスローガンにうたった“LOVE CLASSICS”コンサートシリーズは1997年～2005年まで19回を数え、現在進行形のプロジェクトとして“野菜と音楽は心のビタミン”をスローガンに健康と音楽を結びつけた“サラダ記念日コンサート”などセルフプロデュースのコンサートを数多く展開。近年ではマリア・カラスの生涯を綴った“ショコラ・ド・マリア・カラス”が大きな反響を呼んだ。今までリンカーンセンター、カーネギーホール、日本ではオチャードホールなど主要な劇場で歌い、オペラでは“ランメルモールのルチア”“リゴレット”等に主演。2001年9月11日同時多発テロに遭遇、そのトラウマと闘いながらも音楽ライブを通じ、人間として生きる喜びを聴衆と共有している。2008年10月、世界の人気ゲームの主題歌に歌手のみならず作家としても参加した“夢の淵”がソニーミュージックよりリリースされた。2009年9月11日に柴田にとっては初のオールクラシックアルバム“MY AMERICAN DREAM”がリリースされた。年を重ねたからこそ歌える“心で歌うクラシック”を伝えている。現在日本での本拠地として自由が丘に“光と風と緑を感じながら生楽器による音楽を楽しむ空間”“自由が丘オペラ座”をプロデュース。心の底から元気になるハーバルミュージックを開発しながら初プロデュースアーティストとしてマンドリンデュオ“プラネット・スピリタ”をユニバーサルミュージックよりデビューさせるなど柴田智子のオリジナルティ溢れる人生の一旦としてプロデューサーとしての一面も開花させている。東京二期会会員。

柴田 智子公式ウェブサイト <http://www.tomokoshibata.com>



堀 雅貴 [マンドリン]

Masataka Hori

(株)T.S.P.I.専属アーティスト。2008年7月に結成された世界初マンドリンデュオ“プラネット・スピリタ”のリーダーとして2009年の11月ユニバーサルミュージックよりCDデビューを果たす。ソリストとしては数多くのマンドリン系楽器を自由自在に使いこなし、古典からポップスまでレパートリーは幅広い。マンドリンを通して表現する音楽性は豊かで他のジャンルの音楽家からも絶大な信頼を得ている。又、ギター、作曲、他の楽器とのアンサンブル、教師としても才能を発揮する他、ファッションやエコライフにも深い興味を示す自然派のライフスタイルの青年で、T.S.P.I.の新境地“ハーバル ミュージック”にも大きな関心を抱いている。明治大学附属明治中学校にて初めてマンドリンを手にして以来、高校から久保田孝氏にマンドリン・和声・指揮法を師事しながらその確固とした技術を生かし、今までにマンドリンのリカルド・サンドバル、ギターのリカルド・ガケール氏等とも共演活動の場を広げている。ホームグラウンドの自由が丘オペラ座では年に数回ライブをこなし、9月には自身初のソロライブを開催。好評を博す。

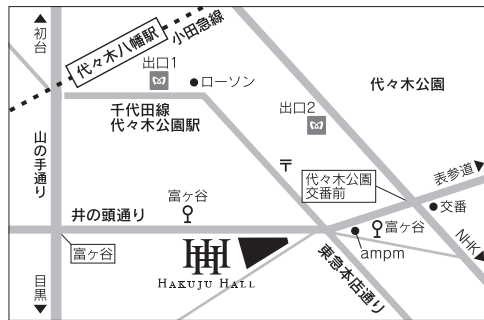


中島 剛 [ピアノ]

Go Nakajima

6才よりピアノを始める。東邦音楽大学を首席で卒業。第64回読売新人演奏会出演。1996年からハンガリー国立リスト音楽院に学ぶ。2002年7月ウィーンを訪問された天皇皇后両陛下の歓迎レセプションで、ウィーンの若き音楽家の一員として紹介された。8月にはウィーン・フィルのコンサートマスターであるライナー・キユッヘル氏と共演。2005年 CHANEL NEXUS HALLにて現在も開催されているCHANEL Pygmalion DaysにてNr.5の一人として一年間演奏。2006年1月、紀尾井ホールでのピアノ・リサイタルは大成功を収めた。同年6月には第一回坂本龍一プロデュース「ロハスクラシック・コンサート2006」にも参加するなどその活動は多岐に亘っている。

中島 剛公式ウェブサイト <http://www.go-nakajima.com>



HAKUJU HALL
〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1-37-5
TEL: 03-5478-8700

(最寄駅) 代々木公園(千代田線)>>徒歩 約5分
代々木八幡駅(小田急線)>>徒歩 約5分
(バス)「富ヶ谷」下車徒歩1分 渋谷南口バスターミナルより10分
渋谷63(中野行) 渋谷64(中野行) 渋谷66(阿佐ヶ谷行)
渋谷61(初台駅行) 渋谷67(笹塚循環)

会社、学校、ショップ等のトータルデザイン&コンサルティング
CI・ブランディング・サイン計画・会社案内
広告・DM・カタログ・パッケージ・ウェブサイト
www.directionjp.com **DirectionGD**

SPECIAL THANKS: 株式会社 ミカドコーヒー商会
ヘアメーク: 宮原幸子 衣裳: アニコモードサロン リーフレットデザイン: 有限会社ディレクションGD



ミカドコーヒー

これからも本物の味をお届けいたします

1948年の創業以来、常に本物の味わいを求め続けているミカド珈琲商会

世界各地からの厳選したコーヒー豆を使用し、自社焙煎工場での「味」を代々引き継ぐ焙煎士たちが、コーヒーの豆の特性に応じて丁寧にブレンド、焙煎をしております。

株式会社ミカド珈琲商会

便利な web ショッピングもごさいます <http://mikado-coffee.com>

通販部 フリーダイヤル **0120-509-936** (受付 平日 9:30-17:00)

◆ミカドコーヒーは直営喫茶店も営業しております
日本橋、軽井沢 (3店舗)、渋谷、鎌倉、沖縄